

第3回 （一社）電力需給調整力取引所 運営委員会 議事録

1. 日 時：2024年11月 1日（金）15：00～16：05

2. 場 所：オンライン開催

3. 委員一覧（出席者）：

	氏 名	所 属
	阿部 一人	四国電力送配電（株） 企画部 副部長 兼 技術計画グループリーダー
	稲森 悦郎	九州電力送配電（株） 系統技術本部 運用計画グループ 課長
	太田 泰俊	北陸電力送配電（株） 電力流通部 広域運用チーム 統括課長
	岡田 怜	東京電力パワーグリッド（株） 系統運用部 広域給電グループマネージャー
	小柳津 政勝 （代理：齋藤 雅應）	東北電力ネットワーク（株） 電力システム部（給電） 課長
	鹿野 祐介	関西電力（株） エネルギー需給本部 電力取引グループ チーフマネージャー
	川口 公一	一般社団法人エネルギーリソースアグリゲーション事業協会 会長理事
	川崎 斉司	大阪ガス（株） 電力事業部 電力事業推進部 市場取引チーム マネージャー
	工藤 芳揮 （代理：永谷 和久）	旭化成（株） 環境ソリューション事業本部 エネルギー総部 エネルギー戦略推進部 エネルギーセンターグループ グループ長
	倉田 裕太	（株）J E R A 最適化統括部 統合ポートフォリオ戦略部 市場制度ユニット ユニット長
	新谷 宏治	北海道電力ネットワーク（株） 工務部 広域システムグループリーダー
◎	菅原 健一	中部電力パワーグリッド（株） 系統運用部 給電計画グループ グループ長
○	高間 康弘	関西電力送配電（株） 系統運用部 給電制度グループ チーフマネージャー
	鳴瀧 匡彦	東京ガス（株） 電力事業部 電力トレーディンググループマネージャー
	西本 英彦	中国電力ネットワーク（株） 企画部 市場整備グループ マネージャー
	平尾 宏明	一般社団法人エネルギーリソースアグリゲーション事業協会 副会長理事

※五十音順、敬称略、◎は委員長、○は副委員長



4. 議 題：

- (1) 2025 年度売買手数料単価に係る意見募集について
- (2) 取引規程類の改定事項について（2025 年 3 月改定予定）
- (3) HP 上の公表情報の充実に向けた取り組みについて
- (4) 「揚水発電設備または蓄電池設備を用いて需給調整市場に参入する場合の取扱いガイド」の公表について

5. 議事内容：

(1) 2025 年度売買手数料単価に係る意見募集について

事務局より、需給調整市場の 2025 年度の売買手数料単価に係る意見募集について以下の説明があり、本件の理事会への付議にあたり、運営委員会としての意見、提言を確認した。

- ・ 第 2 回運営委員会（9 月 2 日開催）に引き続き、特に 2025 年度の売買手数料単価の決定に向けた、早期の単価見通し周知を伴う意見募集の実施、および単価決定までの具体的なスケジュールについてご確認いただき、ご意見等いただきたい。

【確認事項 1】2025 年度の売買手数料単価見通しの公表および意見募集の実施について

✓ 11 月※¹に下記の売買手数料単価見通しの公表と意見募集を実施したい。

✓ 公表資料の素案等について、意見・助言はあるか。

※ 1 11 月 18 日(月)～11 月 29 日(金)の実施を想定

< 売買手数料単価の「単位」に関する変更 >

- ・ 2025 年度より、三次②商品は取引単位が 30 分となり、更に 2026 年度以降はその他の商品も取引単位を 30 分とする予定であることを踏まえ、分かりやすさ等の観点から、2025 年度より、売買手数料単価の単位を「 Δ kW・h(1 時間)」から「 Δ kW・30 分」へ変更する。

< 手数料単価算定諸元のうち「 Δ kW 約定量（想定値）」について >

- ・ 2025 年度売買手数料単価見通しに関する諸元（仮）においては、全商品の取引開始（2024 年度）以降の最新の実績（推実含む）を基にした想定値とする。

< 2025 年度売買手数料単価の見通し >

- ・ 2025 年度売買手数料単価は、0.03 円/ Δ kW・30 分※^{2, 3}（仮）となる見通し

※ 2 従来（2024 年度まで）の単位の場合：0.06 円/ Δ kW・h

※ 3 単価見通しの算定諸元は公表までに若干の見直し可能性あり

【確認事項 2】2025 年度手数料単価決定に向けたスケジュールについて

✓ 2025 年度売買手数料単価の決定に向けて、具体的なスケジュールを確認いただきたい。

< 今後のスケジュール（案） >

- ・ これまで単価決定・公表は前年度 3 月中旬に行ってきたが、2025 年度に向けては、大きく単価を変更する必要があるため、早期に見通しの公表や意見募集等を行ったうえで必要な議論を行い、従前より前倒して決定・公表する。

鳴瀧委員：売買手数料単価が高くなるという点と、単位も変更になる点を踏まえ、事業者としては実務に影響があり得るため、従前のスケジュールより前倒して決定・公表していくことに賛同する。既存の取引会員はもちろんだが、新規に市場参入を検討されている事業者に向けても広く周知されるよう、国の審議会等でも発信するなど、周知の方法は検討いただきたい。

西本委員：確認事項 1，2 ともに特段の異論はない。

売買手数料単価の試算において「数値(諸元)は公表までに若干の見直し可能性あり」と記載されているが、本日から 11 月 18 日の意見募集までの間で公表する諸元が若干変わる可能性があるという趣旨か。

菅原委員長：2 名の委員からのご意見等に対して事務局からコメントをお願いしたい。

事務局：まずは鳴瀧委員からいただいたご意見について、非常に重要な視点と認識。既存の取引会員だけではなく、市場参入を検討されている事業者も含めて広く周知できるよう、需給調整市場検討小委員会のお場をお借りして広く周知する等、工夫してまいりたい。西本委員のご質問について、ご指摘のとおりである。

西本委員：11 月 18 日までに（単価見通しの算定諸元は）若干の見直しの可能性があるという趣旨と理解。そのうえで意見だが、最終的には 2 月に決定・公表されるスケジュールであるため、そのタイミングでも当然変更の可能性はあると認識。そのため、11 月 18 日の意見募集資料でも何らか言及しておくべきと思料。

事務局：ご指摘のとおりであるため、意見募集資料でも補記させていただく。

菅原委員長：その他ご意見なければ、以上とさせていただく。事務局におかれては本日のご意見を踏まえ、理事会への付議をお願いする。

(2) 取引規程類の改定事項について (2025 年 3 月改定予定)

事務局より取引規程類の改定事項案について以下の説明があり、本件の理事会への付議にあたり、運営委員会としての意見、提言を確認した。

- ・ 国の審議会における整理事項の反映や需給調整市場システム改修に伴う対応を中心に、2025 年 3 月の取引規程改定に向けて、作業・調整を行っているところ。
- ・ 第 2 回運営委員会 (9 月 2 日開催) において、委員に対し、追加の改定事項に関する意見募集を実施。その結果も踏まえ事務局にて改定事項を取りまとめたため、フィードバック。
- ・ 本内容を以って、運営委員会からの提言として理事会へ付議させていただく。

【改定事項】(第 2 回運営委員会から⑬～⑮の項目を事務局にて追加)

- ① 一次調整力のスカウティング枠 (新オフライン枠) の追加
- ② 一次調整力の追加基準値 (逐次計測型) の導入
- ③ 三次調整力②の 30 分ブロック化および応動時間要件緩和
- ④ 一次調整力の供出可能量の考え方の見直し
- ⑤ 週間市場商品の 30 分ブロック化
- ⑥ 持ち下げ・起動費返還のシステム対応に伴う修正
- ⑦ VPP におけるマイナス供出電力帯の調整単価登録
- ⑧ 各リスト・パターン事前審査方法および入札単位変更の見直し
- ⑨ 簡易指令システムにおける瞬時供出電力の再送時のデータの扱い
- ⑩ 入札単位の記載明確化
- ⑪ 一次調整力の入札ルール見直し (定格出力外 GF 幅の活用)
- ⑫ 余力活用契約のある専用線接続の単独発電機に対する指令方法の追加
- ⑬ システム改修に伴う調整単価登録方法の変更
- ⑭ トラブル時における調整／非調整およびアセスメント I 発電上限の考え方
- ⑮ 発電可能上限値が上下する場合の簡易指令電源に対する指令方法

【委員からいただいたご意見について】

- ・ 委員からは三次調整力②の要件緩和に関する改定要望を 2 件受け付けたが、いずれも過去の需給調整市場検討小委において整理された内容に対する緩和要望であるため、電力広域的運営推進機関にもご相談しており、次回以降の改定に向けた論点とさせていただく。

川口委員 : 委員からの提出意見については、引き続きご検討をお願いしたい。

今回の改定事項に直接は関係ないが、確認させていただきたい。三次調整力②の 30 分ブロック化に伴い需給調整市場システムが改修されると思うが、基準値登録が 3 時間ブロックのまま変更されず、1 時間前に 3 時間分の登録をする必要がある認識。どのように改修されるのか、ご教示いただきたい。

菅原委員長 : 事務局からコメントをお願いしたい。

事務局：システム改修に関する詳細を確認のうえ、別途回答させていただく。

川口委員：承知した。

倉田委員：今回の改定項目について異論はない。一方で、電力・ガス取引監視等委員会の制度設計・監視専門会合において、事業者の供出インセンティブに関わる論点について議論されており、具体的には起動費の取り漏れや経済差替えについてのルール見直しが進行している認識。これらについても取引規程に反映して、分かりやすい運用につなげていただくようお願いしたい。

川崎委員：過去の意見募集において、取引規程の改定要望について何点か意見出しさせていたが、見直しされない旨の回答をいただいている。改めて課題感をお伝えしたうえで、事務局にてご検討をお願いできないか。

菅原委員長：2名の委員からのご意見等に対して事務局からコメントをお願いしたい。

事務局：まずは倉田委員からいただいたご意見について、電力・ガス取引監視等委員会とも相談中ではあるが、2025年度からの適用開始に向けて、事業者と覚書を締結する方向で検討を進めている。

川崎委員からいただいたご意見については、引き続きご対応を相談させていただきたい。

川崎委員：承知した。

菅原委員長：その他ご意見なければ、以上とさせていただく。改定項目15件については特段ご意見なかったため、事務局にて理事会への付議をお願いする。

(3) HP 上の公表情報の充実にに向けた取り組みについて

事務局より HP 上の公表情報の充実にに向けた取り組みについて以下の説明があり、運営委員会としての意見を確認した。

- ・ EPRX では、市場取引の実態をより分かりやすくご理解いただけるよう、また市場取引の活性化を目指し、ホームページの公表情報の充実に取り組んでいる。
- ・ 取引会員へアンケート調査等を行ったところ、グラフ化表示の実装のご要望を多数いただいたため、グラフ表示機能を HP に実装し、2024 年 9 月 30 日より運用開始している。
- ・ 今後の更なる公表情報の充実に向けて、取引実績の追加公表項目および HP への追加掲載情報についてご意見をいただきたい。

【公表する取引実績の追加項目（案）】

<電源種別>

- ✓ エリアごとに電源種別で公表すると電源が特定される可能性が考えられるため、どの粒度で公表すべきかは精査が必要。例えば全国計が考えられるか。
- ✓ 電源種別は、需給調整市場システム（MMS）への登録項目である電源等種別（火力、水力、揚水、蓄電所、VPP(発電)、VPP(発電+需要)、VPP(需要)) とするか。

【HP への追加掲載情報（案）】

<需給調整市場に関する解説資料を追加>

- ✓ 需給調整市場の理解促進に資する解説資料を新たに作成する方向で検討。

川崎委員：検討いただきたい追加項目が何点かあるため、別途メールで意見提出させていただきたいが問題ないか。

また、運営委員以外の取引会員に対しては別途ヒアリングやアンケートをされる予定はあるか。

菅原委員長：事務局からコメントをお願いしたい。

事務局：メールでまとめてご意見提出いただければ幸い。

また、取引会員に対しては 4 月にアンケート調査を実施し、その際のご意見も踏まえて今回の案を提示させていただいた。

川崎委員：承知した。

鹿野委員：取引実績の追加項目について、利便性の高い公表と表裏一体で、公表の仕方によっては電源やプレーヤーの行動がある程度推測できてしまうため、十分な配慮をお願いしたい。

また、川崎委員のご意見と同様だが、最終的にどのような形で公表するかという点について、取引会員ごとに様々意見はあり得るため、ニーズの集約過程でも、最終的な形についても、多様な意見を聴きながら進めていただきたい。

倉田委員：更なる公表情報の充実ということで、取引会員の意見を踏まえて機能実装いただいていること、また継続的に検討いただいていることに感謝申し上げます。

追加項目についての意見だが、電源種別の扱いは、特に単独エリアで約定した際に特定されやすいため全国計の参考値として公表することを支持する。一方で、広域調達が成立した際は、広域ブロック単位で表示することも一案ではないかと思料。

また、4月にアンケート調査いただいたものの、その後の情勢変化として、三次調整力②については募集量の削減係数が導入されている。こちらは市場競争が十分に機能していない現状の応急措置と認識しているが、削減係数が反映される前の本来の募集量の数値はマーケットを分析する上で重要な情報になるため、公表情報として追加できないか検討いただきたい。

川口委員：このように公表情報の充実は非常に重要であるため、ぜひともお願いしたい。ただ、気になった点としては、電源種別において VPP だけが特に細分化されている認識。登録数は多くないはずだが、ここまで電源種別を細分化して公表する必要はあるのか。少し配慮をお願いしたい。

菅原委員長：3名の委員からのご意見等に対して事務局からコメントをお願いしたい。

事務局：電源種別の粒度については、電源が特定されないように、またどういった粒度で示せるかというところを検討したい。

募集量削減係数を乗じる前の本来の募集量については、お示しできるかを検討していきたいと思料。

VPP の粒度が細かいというご指摘については、現状は MMS の登録項目と合わせる形でお示ししているため、いただいたご意見も踏まえ引き続き検討してまいりたい。ご意見の集約については、改めて委員の皆さまへメールさせていただく。

菅原委員長：改めて意見募集の形で事務局からメール周知がされるため、委員におかれては意見出しをお願いしたい。

(4)「揚水発電設備または蓄電池設備を用いて需給調整市場に参入する場合の取扱いガイド」の公表について

事務局より「揚水発電設備または蓄電池設備を用いて需給調整市場に参入する場合の取扱いガイド」の公表について、以下の情報共有があった。

- ・ 揚水発電設備もしくは蓄電池設備を用いて需給調整市場へ参入する場合、設備形態等により詳細を個別に定めることとしており、取引規程・取引ガイドには詳細を記載していない。
- ・ 事業者の疑問点等を事前に解消し、事業者および EPRX・TSO 双方の業務効率化を図る観点から、「揚水発電設備または蓄電池設備を用いて需給調整市場に参入する場合の取扱いガイド」の公表を予定。
- ・ 9月9日～20日に意見募集（パブリックコメント）を実施し、多数の意見・質問を受領。
- ・ 現在、11月中旬の公表に向けて、ガイドの修正作業および意見募集への回答作成を行っている。

川口委員：蓄電池設備を用いて需給調整市場へ参入される事業者には、あまり電気事業に詳しくない事業者も多いため、このようなガイドが作成されると非常に有難い。

事務局：本ガイドの公表についてご賛同いただいた認識。今回公表するガイドについては、必要に応じて今後も適宜見直していく予定であるため、意見募集等を通じてまたご意見いただけたら幸い。

菅原委員長：以上をもって、本日の議事を終了する。

以 上